

2月6日（土）

午後から統神社の掃除をしてきました。

統は「とう」ではなくて「すえ」と読みます。正しくは「すべ」と読むのですが鎮座地の須恵町の「すえ」と混同されて、今では統神社を「すえじんじゃ」と読んでいます。この神社はなかなか不思議な神社で、鳥居の額には「統神社」、拝殿の額には「八幡宮」、地元の人には「神宮司（じんぐうじ）」と呼びます。三つの名前がある神社です。そこには歴史が詰まっているはずで、私が想像するには、その時代時代で祀られた神様が変わっていったのです。

境内社の稲荷神社も特異です。他の境内社はお社だけですが、この稲荷神社は白壁の覆屋の中に祀られています。それだけ大事に考えられたお社であろうと想像がつかます。同じく境内社の猿田彦神社もまたしかり。小さなお社ですが、敷地は本殿のある神域より広いです。その形も、いびつです。どんな歴史がひそんでいるのか、タイムマシンで時代を遡ってみたいものです。

さて、清掃の話にもどします。初秋から年末にかけて、落葉がハンパじゃないです。今日の落葉の量はその頃に比べると百分の一ぐらいでしょうか。それでも二人で1時間はかかりました。本務の御霊神社は、1回の掃除で3時間かかります。どうです？ 清掃のボランティアに来ませんか？ お茶ぐらい出しますよ。